



たより Vol.56

祥雲閣は荒雄地区の旧家、青沼家が所有していた貴賓館の名称を受け継ぎ、伝統文化の伝承と普及、研修の場として平成6年に開館しました。
約1200坪の庭園内に本格茶室『龍華庵』があります。



テーブルと椅子を設置した立礼茶室は、正座が難しい方、外国の方にも気軽にお茶を楽しんでいただけます。日曜から金曜は抹茶、土曜は煎茶をお出ししています。季節の和菓子とお召し上がりください。



雛まつり茶会

4年ぶりに大寄せの茶会を開催します。
早春の茶庭と雛飾りを眺めながら
茶席をお楽しみください。

日時 3月3日(日)
午前10時~午後3時
場所 大崎市祥雲閣 和室
席主 裏千家 松涛会
茶券 600円



※2月1日(木)10時から祥雲閣で前売券を販売します。

大崎市祥雲閣
令和6年1月30日発行
〒989-6105
宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号
TEL・FAX 0229-24-3385



四季折々の祥雲閣

梅見月の風景

二月は「梅見月」と呼ばれます。祥雲閣の庭園で厳しい冬の寒さに耐え真っ先に花を咲かせます。梅は中国から伝わり観賞用、薬用として広まり「うつくしくめずらしい」ところから名がついたとも言われます。

節分はこの時期の病気や災害を鬼に見立てて、悪いものを追い払う為に豆をまき、年の数または一つ多く豆を食べると病気を防げると言われます。

祥雲閣では柗鯛（ひいらぎいわし）を飾ります。鬼は鯛（いわし）の臭いと柗（ひいらぎ）のとげを嫌うと言われます。焼いた鯛の頭を柗の枝に刺し、それを玄関先にとりつけて、鬼が入ってこないように魔除けや厄除けとする風習があります。

※諸説あります。

春の訪れを表す立春を過ぎても厳しい寒さが続きますが、庭園の景色や茶室に生けられた花の香りに春の訪れの近いことが感じられる日が増えていきます。

カレンダー

※ は休館日、○は煎茶提供日です。（変更する場合があります）

2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③						1	②		1	2	3	4	5	⑥
4	5	6	7	8	9	⑩	3	4	5	6	7	8	⑨	7	8	9	10	11	12	⑬
11	12	13	14	15	16	⑰	10	11	12	13	14	15	⑱	14	15	16	17	18	19	⑳
18	19	20	21	22	23	⑳	17	18	19	20	21	22	㉓	21	22	23	24	25	26	㉗
25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	⑳	28	29	30				
							31													



祥雲閣のご案内



和の空間で四季折々の庭園を眺めながら500円でお茶とお菓子を味わえます。（10時～16時まで）

茶道をはじめ、狂言、仕舞、謡、舞踊等の発表会やお稽古などにご利用いただけます。

◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

◆電話 0229-24-3385

◆交通 JR古川駅から徒歩約20分
東北自動車道古川ICより車で約10分

◆駐車場 有

◆休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）

◆入館料 無料

